

／ギャップGAP認証で安心と信頼の見える化／

安心安全な農産物を選択しよう

ID 1027598



「食品の安心安全」に関する取り組みが世界中で広がっています。本市にも、安心安全な農産物づくりに関する厳しい基準の認証を取得し、農産物の生産に取り組んでいる生産者がいます。

この機会に、私たちの食卓に安心安全な農産物を届けてくれる生産者の取り組みについて理解を深めてみませんか。

☎農林生産流通課 ☎(632) 2457

GAP認証に取り組む生産者にインタビュー

GAP認証に取り組んだきっかけは東京オリンピック

2021年に東京で開催された、第32回夏季オリンピックへ青果物の出荷を検討した際に、出荷の条件としてGAP認証が必要だったので、取り組むことを決意しました。最初は、県GAPから取得し、今後の販路拡大を見据えて、国際的な認証である「GLOBAL.G.A.P」を取得しました。

また、取り組んで良かったこととしては、作業や管理の手順を見直したことで、誰が作業しても同じように進められるようになったことです。肥料や農薬の管理、収穫から出荷までの工程を記録することで、生産の流れを分かりやすくし、土の状態など畑ごとの情報も蓄積するようにしました。こうした積み重ねが、品質の高い農産物を安定して届けることにつながっています。

産物を安定して届けることにつながっています。

確かな品質を保つために、収穫、袋詰め、箱詰め、3つの工程で、害虫や傷みがないか1つずつ確認しています。また、化学肥料を使わないなど、環境に配慮した栽培にも取り組んでいます。畑での収穫担当と作業場での袋詰めなどの担当を分けることで、土や病害虫を作業場に持ち込まないようにし、常に清潔な作業環境を保つように心掛けています。

環境にも配慮した生産を

農薬や肥料をこれまで以上に適正に使用しようという意識が高まりました。産業廃棄物は適切に分別・処分するとともに、その内容



千葉ファーム
取締役農場長

いちむら いさお
市村 勇男さん

市内でほうれん草を栽培し、
「GLOBAL.G.A.P」を取得。



▲収穫されたほうれん草



▲手作業で収穫する様子



▲栽培しているほうれん草

安全な農産物ってどうしたら分かるの？

GAPの認証を受けた農場で生産された農産物には、GAPマークがついていることがあります。



▲認証マーク

農薬の使用をしっかりと管理し、環境に配慮することで、消費者に安心して選んでもらえる農産物を提供しています。

この認証があることで、私たちは安心して食べることができます。スーパーや道の駅、直売所などで、このマークを探してみてください。

GAPのメリットとは？

消費者

- ▼安心安全な農産物が手に入る。
- ▼異物の混入が防がれている。

環境

- ▼環境保全に配慮した、「持続可能な農業」の実現につながっていく。
- ▼農薬や肥料の適正使用により、土壌汚染を防ぐ。
- ▼さまざまな生物との共生が図られる。

生産者

- ▼品質の向上につながるとともに、生産・販売計画が立てやすくなる。
- ▼農作業事故・その他トラブルの防止および発生後の原因究明・改善を迅速に行うことができる。

生産者にも大切な GAP 攻めと守りの農業

今回インタビューをした千葉ファームでは、青果物を扱っているため、手洗い、手袋、体調管理を徹底する他、毎日作業内容を従業員と確認し、その際に危険を伴う作業がある場合は、注意事項を共有しています。

農産物の品質の向上や収量の増加を「攻め」の取り組みとするなら、GAPは事故やトラブルを防止する「守り」の取り組みです。守備力を高めることで、産地力の強化や経営の安定を図ることができます。



グッド アグリカル チャー プラクティシス Good Agricultural Practices ＝持続可能な農業

GAPは、消費者、生産者、環境にとって、良い（Good）農業（Agricultural）の取り組み（Practices）であり、安心安全な農産物をつくるための仕組みです。

を記録して管理しています。収穫時に発生した廃棄するほうれん草も、焼却するのではなく土に還すなど、環境に配慮した処理を行っています。また、農薬を散布する際は、周囲の住宅や畑へ薬液が風で飛散しないよう細心の注意を払う他、噴射器は使用する薬剤や用途ごとに区別し、洗浄時に混同しないようマニュアルに沿って管理しています。



▲農薬を区別して管理する様子

市民の皆さんへ

近年、品質保証の観点から、GAPに対する消費者の意識が変化してきていると感じています。

私たちは、特に品質にこだわっており、冷蔵庫で保存する際、一般的なほうれん草に比べて、新鮮な状態をより長く保つことができます。化学肥料を使用しておらず、土作りの段階から通常より深く耕し、しっかりとした根が生えるように工夫しているため、通常の倍以上長持ちする元気なほうれん草が育ちます。ぜひ、GAPマークのついた農産物を手に取っていただきたいです。



▲包装されたほうれん草



▲栽培されたほうれん草を保管の様子